

## 多可町

## 『多可町学校給食センター』 (兵庫県多可町)



エコ・アイス

ヒートポンプ給湯

## 贈呈理由

## 環境に配慮し大幅な省エネを実現するエコ・アイスと業務用ヒートポンプ給湯機の導入



多可町学校給食センター

多可町は、2005年11月1日に旧中町、旧加町、旧八千代町の3町が合併し、誕生した。兵庫県の内陸部に位置し、周囲を中国山地の山々に囲まれた多自然居住の町であり、3つの発祥の地と言われている。①酒米最高峰「山田錦」、②日本一の手漉き和紙「杉原紙」、③「敬老の日」発祥の地として、豊かな心を育む施策を充実させながら、歴史と伝統を守っていく町を目指している。

13年3月には、これまで町内3箇所にあった給食センターを一つに統合した「多可町学校給食センター」を新設し、町内のすべての小学校、中

学校、幼稚園および特別支援学校に、より衛生的に、質が高く、おいしい給食を届けることができるようになった。新給食センターは、「省エネ」と「環境負荷の低減」など地球にやさしい学校給食センターとして建設された。施設全体の省エネルギーや環境負荷を低減するため、高効率ヒートポンプ空調機の導入を行い、電力負荷を夜間へ移行する対策として、空調機の一部にエコ・アイスミニを、給湯設備に、大容量業務用ヒートポンプ給湯機を採用して最大電力の抑制とランニングコストの低減を実現している。また、厨房電化によるフルドライシステムの導入、交差汚染のないパスルー方式を取り入れ、食物アレルギーへの対策としてはアレルギー専用の調理室を設置した。徹底した衛生管理と快適な作業環境となっている。

給食センターオープン後は、業務用ヒートポンプ給湯機の運転方法を分析し、昼間のピーク時

に運転を抑制するなど、運用方法の改善によって、負荷平準化の取り組みを行っている。今後も、同センターが、未来を担う子供たちのために安全・安心でおいしい学校給食を提供できる施設の運営を行っていくことが期待されている。



業務用ヒートポンプ給湯機

## 多可町学校給食センター

所在地：多可郡多可町中区岸上220  
 建築設計：加藤建築事務所  
 建築施工：神崎・吉川商店特別共同企業体  
 蓄熱設備設計：加藤建築事務所  
 蓄熱設備施工：加藤建築事務所  
 延床面積：2163㎡  
 竣工：2013年3月（新設）

## ■蓄熱設備概要

エコ・アイスmini 5馬力相当×1台（ダイキン工業）  
 蓄熱槽：0.8㎡  
 業務用ヒートポンプ給湯機 74kW×3台（前川製作所）  
 貯湯槽：30㎡